

(別記様式)

平成25年度 府立城陽支援学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） （計画段階・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 いのちと人権を大切に、安心で安全な教育の推進 2 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の推進 3 出口へのスムーズな接続 4 医療・労働・福祉等と連携した、地域や保護者から信頼される学校づくりの推進 5 学校組織・運営の改善	1 成果 (1) 通学高等部卒業生ほぼ100%の企業就労 (2) 全校研修による発達検査の専門性向上 (3) 地域支援センター「サポート JOYO」巡回相談チーム員との連携した相談支援の拡大 2 課題 (1) 通学高等部の職業学科改編の検討 (2) 教育部の特色ある指導の充実 (3) 学校公開の在り方の再構築	1 地域支援の推進（通級指導・小中学校特別支援学級） 2 職業学科への改編を見通した検討の推進 3 教育部の教育課題に応じた指導内容の充実 4 専門性の向上と学校公開の推進 5 校内 LAN・校務処理システムの改善 6 医療的ケアの充実と南京都病院との連携による指導体制の推進 7 関係機関等と連携した避難システムの構築

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
1 組織・運営	(1) 職業学科への改編に向けた検討の推進	<ul style="list-style-type: none"> 職業学科コースの調査及び研究 職業学科コースを見通した現場実習先、就労先の計画的な開拓(進路支援事業等の活用) 自立し、生きる力が育成できる3年間の系統性をもった学習内容の充実 	C B B	<ul style="list-style-type: none"> 先進校視察(15校)及び報告会を実施。 再任用教員の職場開拓への参画。 新規(開拓124 実習15 採用9) 3年間の系統性ある年間指導計画作成。 2回のポスターセッション(全教諭等1人1ポスター)により研修・実践の交流。 11/8病弱教育部公開授業の実施。 学校見学・視察や小中・市教委訪問・研修会等で本校理解を促進。 職員動静・日誌システムを導入。 校内LANサーバーの再整備、HP更新システムの構築による情報発信の促進。 病棟の協力による医ケア研修や登校指導の促進。 緊急時連絡方法の徹底や避難帰棟経路の確認などから連携を進める。
	(2) 専門性の向上と学校公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全校及び教育部の研究テーマに沿った課題を全教員が設定し、ポスターセッションの実施 学校公開による本校理解の促進 実践研究報告等のリーフレットを活用した小中高等学校、関係機関への本校理解の促進 	A A B	
	(3) 校務処理システムの改善	<ul style="list-style-type: none"> CMSを活用した情報連絡のデジタル化 校内LANの構成を再構築し有効利用の向上 ホームページのシンプル化による発信情報の明確化 	C C C	
	(4) 病院、関係機関等との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な実践研修による医療的ケアの充実 病院との連携による指導体制の改善 	B A	
	(5) 関係機関等と連携した避難システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連携した合同避難訓練等の実施 南京都病院と連携した避難システムの構築 	C C	

2 地域支援	(1) 通級指導教室や小中学校特別支援学級への支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全計画のPDCAサイクルによる指導の充実 ・通級指導教室の実践研究と研修会等での報告 ・小中学校特別支援学級対象のものづくり教室の開催、保護者への情報提供 	B		<ul style="list-style-type: none"> ・教育部毎に避難訓練の事前事後対応。 ・通級指導教室の開始（年間計16名）。 7・11月の研修会で通級実践の発信。 ・8月「ものづくり教室」の開催（2日）。 ・相談件数 新規185件、延べ711件。 ・巡回相談員活用(26件)。関係機関や小中学校との連携相談の増加。 ・生徒指導担当との連携を促進する。 ・7/26研修会(300名)11/8不登校支援(50名・病弱部授業公開)6/24「睡眠」 ・研修講師(6校)・次期Cの育成
	(2) 不登校に関する相談や研修支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談員、他の地域支援センター等の関係機関との連携した相談支援の促進 ・小中高等学校の相談支援の関係者との連携の充実 ・小中高等学校のニーズに応じた研修会の開催や校内研修会支援の推進 	B	B	
3 教育課程 (学習指導)	(1) お互いを思いやり、生命や人権を大切にする指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの早期発見、早期対応の取組 ・ともに学び理解が広がる交流の実施 ・児童生徒の悩みなどを受け止める指導力の向上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート(2回)と事後相談。 ・他校・地域交流の交流先の開拓。 ・人権感覚のある指導について全校研修。 ・支援機器研修と授業での活用増加(重) ・体験的な学習(7回・病)。出前授業等の活用(病・通) ・教育課程の再検討と、個別の指導計画や評価システム等の改善を進める。
	(2) 教育部の教育課題に応じた学習計画・指導内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・支援機器の活用と実践研究報告(重) ・体験的な学習の推進と実践研究報告(病) ・作業学習の見直しと実践研究報告(通) 	B	B	
	(3) キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の障害や病気の実態をふまえたキャリア教育の視点による教育課程の編成 	C	C	

学校関係者 評価委員会 による評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッションによる専門性向上への意識改革や、各教育部の実践研究が進められている。 ・通級指導教室の開設や「ものづくり教室」の開催、関係機関との連携推進など、センター的機能の充実が図られている。 ・個々の児童生徒の課題や指導の方向性に対する、病院・病棟と学校との共通理解や連携の強化が必要である。 ・先進校視察等を踏まえた教育課程の再編や、新たな進路先の開拓、さらには卒業後のアフターフォローに努める。 ・HPによる情報発信の促進や、新たな学校公開の取組を実現し、地域との信頼関係を築く。
-------------------------	---

次年度に 向けた改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・職業教育の更なる充実に向けた教育課程や指導計画の検討と実践を進め、新たな進路開拓・進路指導体制を構築する。 組織・運営 ・公開授業・休日参観を含む学校公開を推進すると共に、学校見学や視察への対応の組織化を図る。 組織・運営 ・情報処理と情報発信(HPや広報)のシステムの確立・活用を目指し、その運営管理の組織強化を図る。 組織・運営 ・避難・緊急対応訓練の再検討や緊急時連絡システムの確立を含む、学校安全計画等の周知と取組を進める。 組織・運営 ・病弱通級指導の推進や、小中高との連携支援の推進、不登校支援の充実など、センター的機能のさらなる拡充を図る。 地域支援 ・各教育部の課題に応じて、個別の指導計画等から評価、転入学から「移行」へのツールやシステムを再構築する。 教育課程 ・教員の指導力量や専門性向上に向けての研修を進め、研究実践成果を地域・外部に発信する。 組織・運営 教育課程
-----------------------	--